

Ref. 5: JP-U-58-86527

Publication Date: June 11, 1983

Application No. 56-181130

Application Date: December 7, 1981

Title of the Invention: Measuring Cup

Claim:

"A measuring cup (A) comprising a cup portion (1) and a handle portion (2), wherein a rough graduation (3) is provided on an inner surface (1a) and a fine graduation (4) is provided on the inner surface (1a) of the cup portion (1) at an opposite portion to one end (2a) of the handle portion (2)."

Fig. 1 is a top view of a measuring cup according to the invention, and Fig. 2 is a section view of the same.

Ref. 5: JP-U-58-86527

Publication Date: June 11, 1983

Application No. 56-181130

Application Date: December 7, 1981

Title of the Invention: Measuring Cup

Claim:

"A measuring cup (A) comprising a cup portion (1) and a handle portion (2), wherein a rough graduation (3) is provided on an inner surface (1a) and a fine graduation (4) is provided on the inner surface (1a) of the cup portion (1) at an opposite portion to one end (2a) of the handle portion (2)."

Fig. 1 is a top view of a measuring cup according to the invention, and Fig. 2 is a section view of the same.

BEST AVAILABLE COPY

① 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—86527

⑬ Int. Cl.³

G 01 F 19/00

識別記号

庁内整理番号

6752—2F

⑭ 公開 昭和58年(1983)6月11日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑮ 計量カップ

⑯ 実 願 昭56—181130

⑰ 出 願 昭56(1981)12月7日

⑱ 考 案 者 青山正夫

⑲ 出 願 人

東京都豊島区南池袋2丁目28番

14号タニタ販売株式会社内

タニタ販売株式会社

東京都豊島区南池袋2丁目28番

14号

明 細 書

1. 考案の名称 計量カップ

2. 実用新案登録請求の範囲

カップ部(1)と柄部(2)とからなる計量カップ(A)の前記カップ部(1)の内周側(1a)に粗目盛線(3)を設けると共に柄部(2)の一端(2a)と相対向する前記カップ部(1)の内周側(1a)に密目盛線(4)を設けたことを特徴とする計量カップ。

3. 考案の詳細な説明

本考案は料理時等に用いる計量カップに関する。

従来における計量カップは、カップ部内に示されている目盛線が極めて粗に目盛られその中間的な計量をする場合には目分量で計量していたために正確な計量ができず、お菓子、ケーキ、など、比較的正確な計量を必要とするものにとっては不都合であった。

そこで本考案は、カップ部に目分量の粗い粗目盛線を設けると共に中間的な計量ができる密

BEST AVAILABLE COPY

目盛線を見易い位置に設け、比較的正確な計量を可能にすることを目的とするものである。

以下実施例を図面に従って詳細に説明する。

(A) は計量カップである。この計量カップ (A) は計量するカップ部 (1) と手で持つ柄部 (2) とからなり、柄部 (2) の一端 (2a) はカップ部 (1) の側面にカシメ、スポット溶接にて固定している。

カップ部 (1) は本実施例の場合、最大容量が 180CC の容量である。(3) は粗目盛線で約 50CC, 100CC, 150CC, 180CC, の容量の位置でカップ部 (1) の内周側 (1a) に設け、この粗目盛線 (3) の近傍には底面より 50, 100, 150, 180, と表示する。

(4) は密目盛線である。この密目盛線 (4) は前記柄部 (2) の一端 (2a) と相対向するカップ部 (1) の内周側 (1a) に設け、本実施例の場合 20CC の容量ごとに 9 区分設ける。

上記構成により大まかな計量については粗目盛線 (3) で計量し、その中間的計量については密目盛線 (4) にて正確に計量できると共に柄部 (2) と相対向するカップ部 (1) 内に目盛られているため



BEST AVAILABLE COPY

に大変見易く、実用上極めて有効である。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は平面図、第 2 図は断面図である。

A … 計量カップ 1 … カップ部

1a … 内周側 2 … 柄部

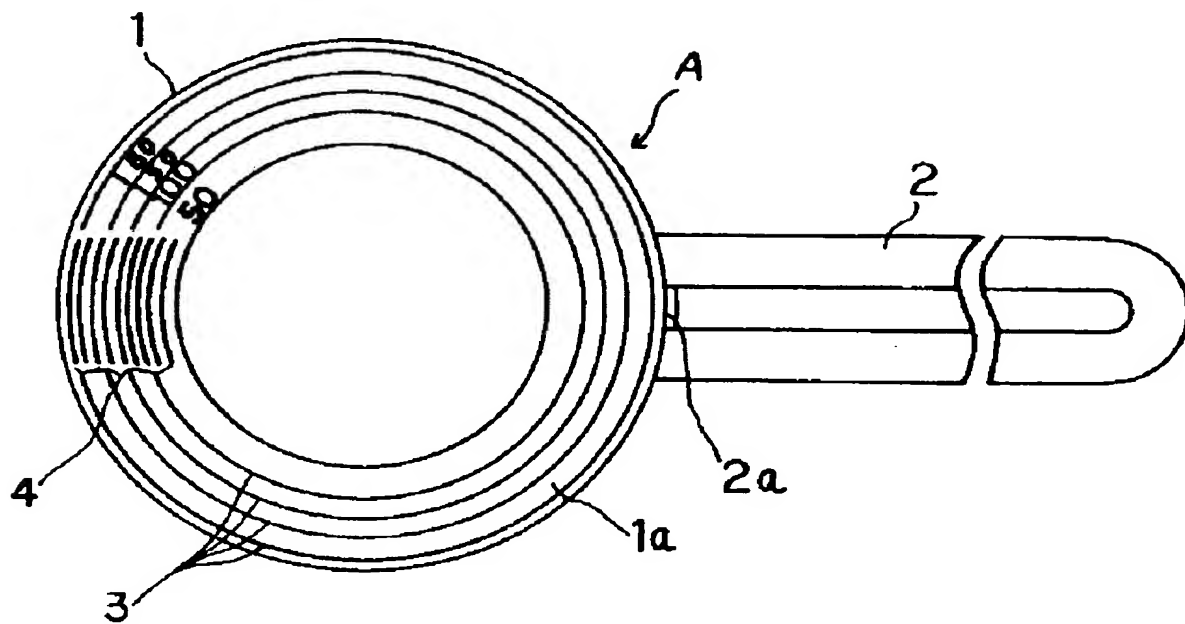
2a … 一端 3 … 粗目盛線 4 … 密目盛線。

実用新案登録出願人 タニタ販売株式会社

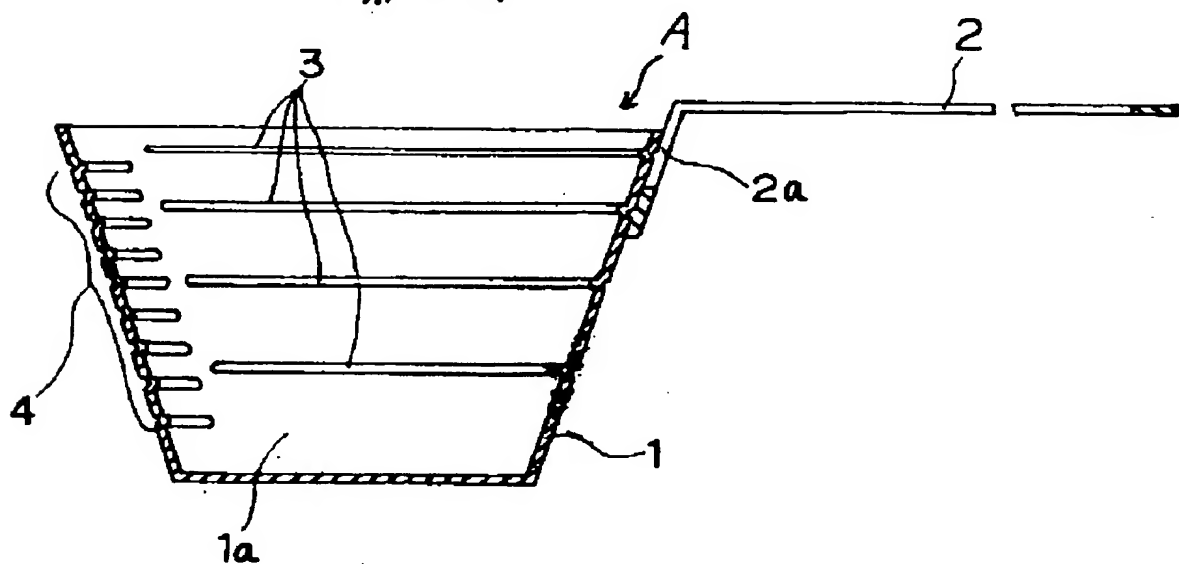


BEST AVAILABLE COPY

第 1 図



第 2 図



267

実用新案登録出願人 タ=タ 販売株式会社

実開 昭和 58 年 2 月 27 日